

専門家派遣型 / 共創イベント型

支援対象団体募集

締切

平成30年

5/9(水)

採択予定件数

専門家派遣型

4件

共創イベント型

4件

あなたが対峙する地域課題を解決して
東北から未来を生み出すプログラムです

募集要項

<http://www.reconstruction.go.jp/>

募集要項およびエントリーシートは上記URL「新着情報」よりご確認ください。

▼募集テーマ

東日本大震災の被災地復興および
地域課題の解決につながるテーマ

※交流人口拡大、コミュニティ・防災拠点形成、一次産業
や自然との共存、ものづくり・技術振興、教育や学び、
暮らしの質向上等。より具体的テーマ例は募集要項参照。

▼応募方法

締切までにEメールにてエントリーシートを
提出

※エントリーシートの様式及び提出先は募集要項を参照

▼応募資格

被災地における地域課題の解決に取り組む
団体

- ・被災地内の自治体
- ・被災地での地域課題の解決に取り組むNPO
- ・その他被災地で地域課題の解決に取り組む団体 等

▼選定方法

エントリーシートについて外部有識者を中心
に構成する選定委員会にて審査・選定

※エントリーシートの内容について事務局からヒアリング
を行うことがあります。

問合せ先

事務局
(株)日本総合研究所 和田、
NECソリューションイノベータ(株) 白川
Eメール: fwttohokuhandson@nes.jp.nec.com

新しい
東北

復興庁
Reconstruction Agency
新たなステージ 復興・創生へ

地域づくりハンズオン支援事業について

【目的】

地域づくりの担い手が対峙する課題の解決を支援しながら、地域内外とのネットワークを育み、事業の自走化に向けて支援します。

【共通事項】

- (1) きめ細かかつ柔軟なハンズオン支援
= 「2つのハンズオン支援」
- (2) 地域内外のゆるやかなネットワークの構築支援
- (3) 各種メディア等を通じた取組内容の地域内外へのPR支援
・ 復興庁等のSNSを通じて、各支援対象団体の取組を発信
・ 他事業（週次で開催する交流会の場）等を活用した取組成果の発信等

2つのハンズオン支援

「専門家に来てもらう」

ハンズオン支援（専門家派遣型）



写真左：市民・行政の対話と協働の場づくりの様子（福島県二本松市）
写真右：地域と多様な「関係人口」がつながる東京でのイベント開催の様子（宮城県山元町）

【本事業の内容】

- (1) 「支援対象団体」、「復興庁」、「専門家等」の「三人四脚」による事業推進
- (2) 地域内外との協力体制・ネットワークの構築支援
- (3) 被災地の多様な地域づくりの担い手とともに学び、「共創の環」を広げる交流会型研修の実施

ハンズオン支援（専門家派遣型）では以下の効果を期待。

- 支援対象団体の実情に応じたオーダーメイドのきめ細かな支援により、地域の課題解決に貢献。
- 地域づくりの担い手同士や専門家との多様なネットワークを育み、次年度以降の事業を自走させる体制を構築。
- 交流会型研修を通して、上記のネットワークを活用してノウハウを共有するとともに、新たな取組を共創できる関係性を構築。

「アイデアを集めに行く」

ハンズオン支援（共創イベント型）



写真：平成29年度共創イベントの様子

【本事業の内容】

- (1) 共創イベント（アイデアソン・ハッカソン）の企画・実施
- (2) ファシリテーター育成研修の企画・実施
- (3) 支援対象団体へ共創パートナーの紹介

ハンズオン（共創イベント型）では以下の効果を期待。

- 共創イベント（アイデアソン等）を通じ、全国各地の多様な属性をもった担い手の参加による課題解決アイデアを創出。
- 国内外におけるシビックテックやオープンデータ活用の担い手との交流を促進し次年度以降の自走化の体制を構築。
- ファシリテーター育成研修を通して、共創イベントの実施ノウハウを提供し、参加者のバックグラウンドや年代を超えた課題解決のつながりを自発的に生み出す。

事業スケジュール

4月 5月

6月～

10月～

2月～

専門家派遣型

共通

共創イベント型

各団体ヒアリング
支援対象団体募集

支援対象団体の決定（全8件）

年間取組計画の策定

各団体やプロジェクトの成熟度（組成・成果蓄積・成熟）、やニーズに応じた決め細やかかつ柔軟な支援

支援例：多様な人々と共創するためのスキル習得、現状把握とビジョン形成、対話と協働の場の創出、戦略的・計画的な事業の推進、多様な手段での財源確保、情報発信、地域内外の多様な主体の巻込、「関係人口」とのつながりの場の構築 等をオーダーメイドで支援

“共創の環”を広げる交流会型研修（計3回）

週次の交流の場における、成果報告やファシリテーター実践など

ファシリテーター育成
研修の実施

共創イベント設計

共創イベント
の実施

年間取組計画の
策定

共創イベントの課題解決アイデアを元に
年間取組計画に基づく支援

支援例：オープンイノベーションの手法を活用したアイデアの具現化手法のスキル習得、地域課題を支援するファン層のSNSを通じた構築、国内外におけるシビックテックやオープンデータ活用の担い手との交流の場の提供、等をオーダーメイドで支援

成果発表